

● H20年度以降の取組み

努力します 平成20年度以降も 更なる向上に取り組めます



●引き続き、効率的な事業実施により、要防災対策箇所の解消に努めます。

●緊急輸送道路における橋梁等の耐震補強、耐震性向上の促進等の震災対策、大規模な岩盤斜面における落石防護工等の防災対策などを推進します。



大規模斜面の落石防護工

●計画的な維持管理（アセットマネジメント）手法を確立し、維持管理体制の強化を図ります。



橋梁の点検状況

●防災管理の情報化や、地域と連携した防災管理体制の充実など、ハード、ソフトの両面から防災対策、危機管理への対応を強化します。

●県民が自主的に災害に備えることができるように、関係機関と連携して情報提供や啓発に努めます。



防災情報
中国地方整備局HP
(<http://www.cgr.mlit.go.jp/saigai/saigai/index.htm>)

●梅雨時期や台風時期など災害の発生しやすい時期は、広報誌、HP等による防災情報提供を実施します。（道の駅等でも情報提供を行います。）

● 交通事故対策の推進

アウトカム指標：④死傷事故率 事故の少ない安全な道路整備を示す指標



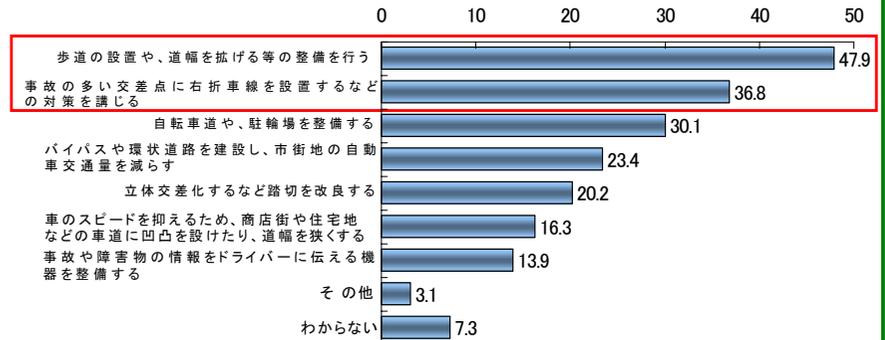
66.5件/億台キロ(死傷事故率)
死傷事故率の低さ全国7位
(中国地方3位)

交通安全に関する要望

歩道設置、歩行者専用道路整備が求められています

道路に関する世論調査 より

「Q：道路の安全性向上のためには、道路整備の面からどのような対策が必要だと思いますか？」 (%)



平成18年7月 内閣府「道路に関する世論調査」

利用者の意識

山口県の現状と課題

山口県内の事故状況

交通事故は山陽側で多く、交通事故死者数も都市部で多発しています

●山口県の交通事故発生状況

山口県内の死傷事故率67件/億台キロは、全国平均115件/億台キロを下回っています。また、人口10万人当たりの交通事故発生件数についても山陽側で多く発生しております。

▼市町村別の交通事故発生状況(平成18年)

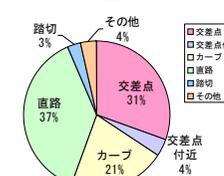


現状の分析

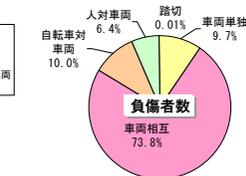
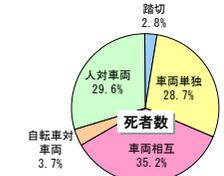
●道路形状および事故形態による事故状況

道路形状別では、直路、交差点において死傷事故が多発しています。事故形態別では、死者数及び負傷者数ともに車両相互の交通事故割合が最も高くなっています。

▼道路形状別発生状況(平成18年)



▼事故形態別死傷者数(平成18年)



山口県警察本部「平成19年度版交通白書」

人と自然を大切にするみちづくり (④死傷事故率)

地域の自治を支えるみちづくり (③要防災対策箇所解消率)

継続的な取組み予定